

YAMAHA

**PIANO
PLAYER**

ピアノプレーヤ

SX-1(R)

SX-3(R)

SX-10(R)

SX-30(R)

取扱説明書

このたびは、ヤマハピアノプレーヤをお買上げいただき、
まことにありがとうございます。

お求めのピアノプレーヤを正しくお使いいただくために、
お使いになる前に取り扱い説明書をよくお読みください。

お読みになったあとは、必ず保管してください。

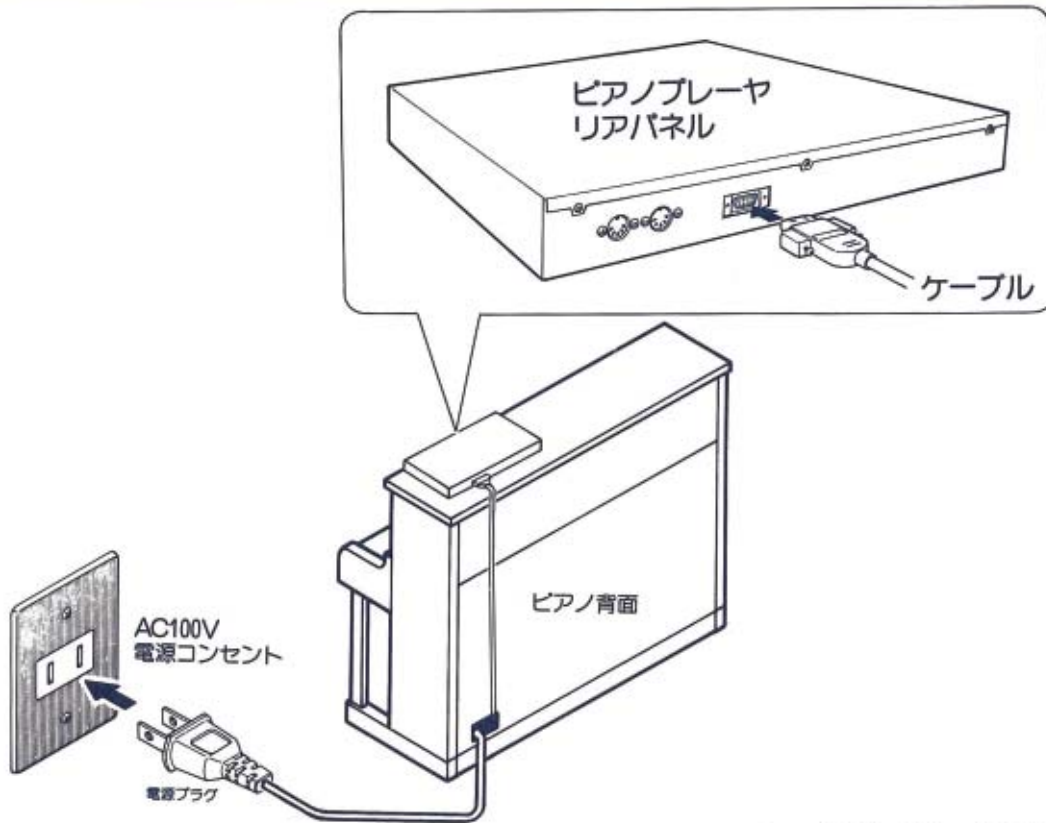
なお、取り付け作業はヤマハ技術者が実施いたします。

もくじ

ご使用になる前に	3
各部のなまえ	4
表示部について	6
リモコンの使い方	8
フロッピーディスクについて.....	10
再生のしかた.....	12
いろいろな再生機能.....	14
録音のしかた.....	18
いろいろな録音機能.....	20
MIDI機能	26
使用上のご注意.....	30
エラーメッセージについて.....	32
ちょっとお調べください.....	33
仕様.....	34
操作方法索引.....	34
サービスについて.....	35

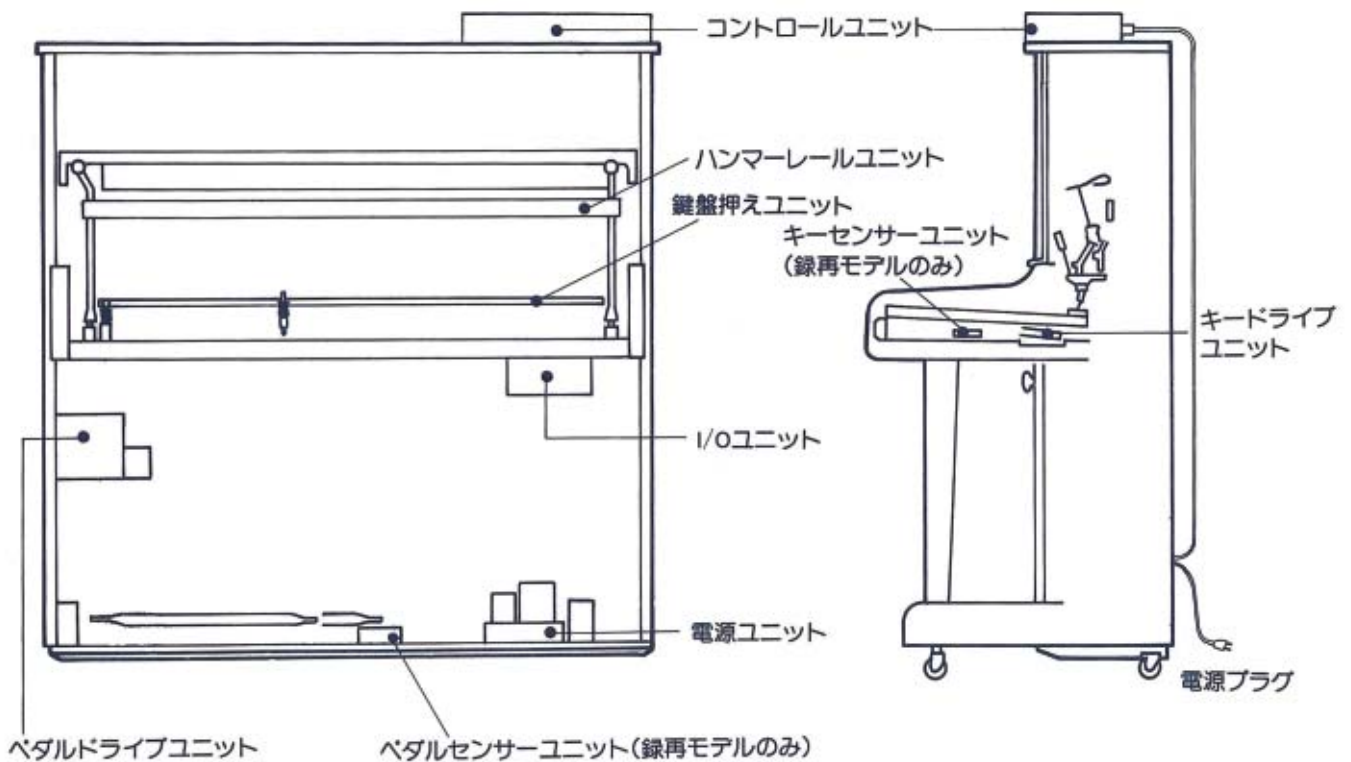
ご使用になる前に

接続



※電源コードの取付箇所が下部の場合もあります。

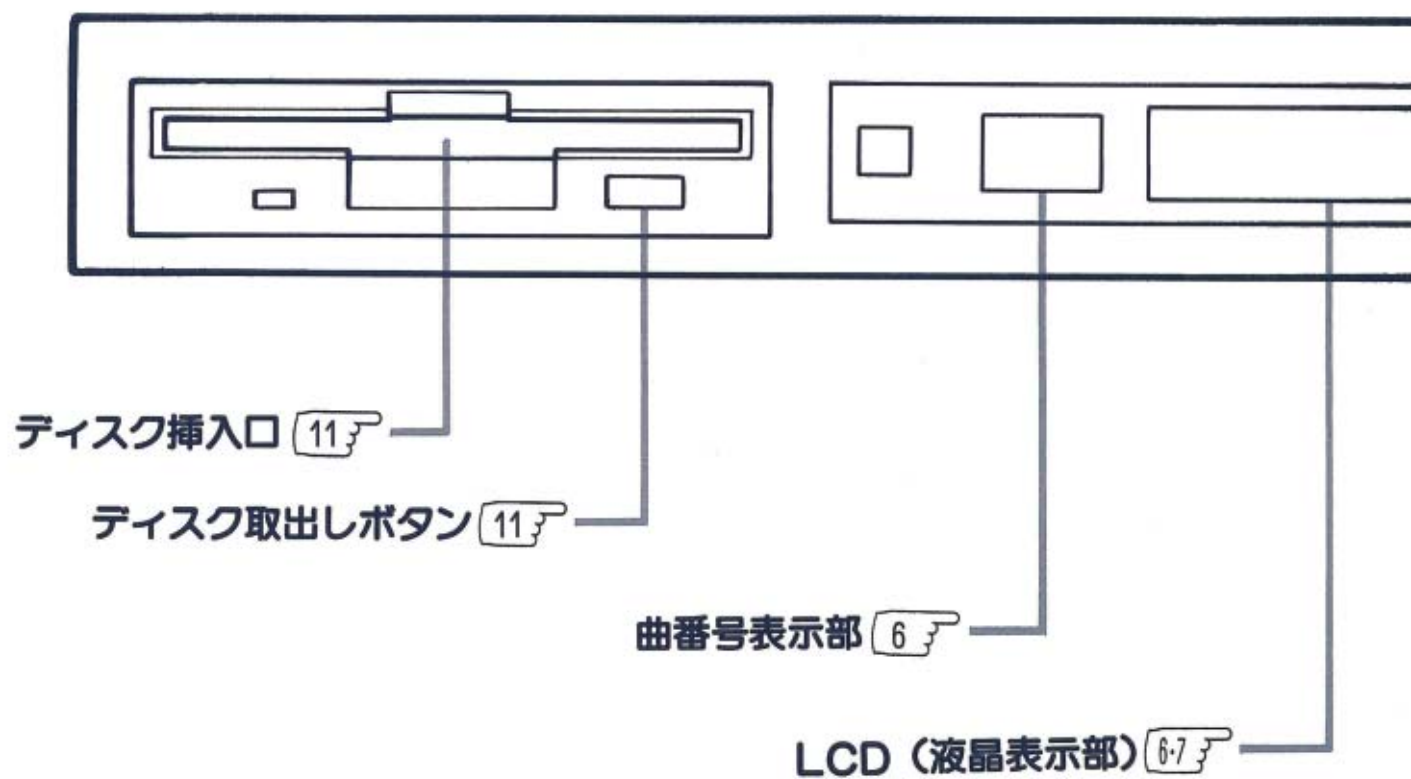
しくみ



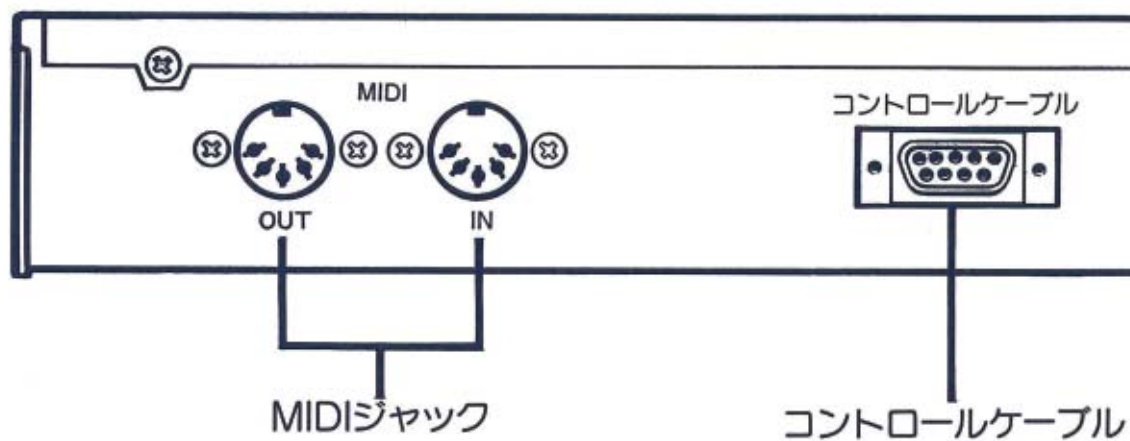
各部のなまえ

コントロールユニット

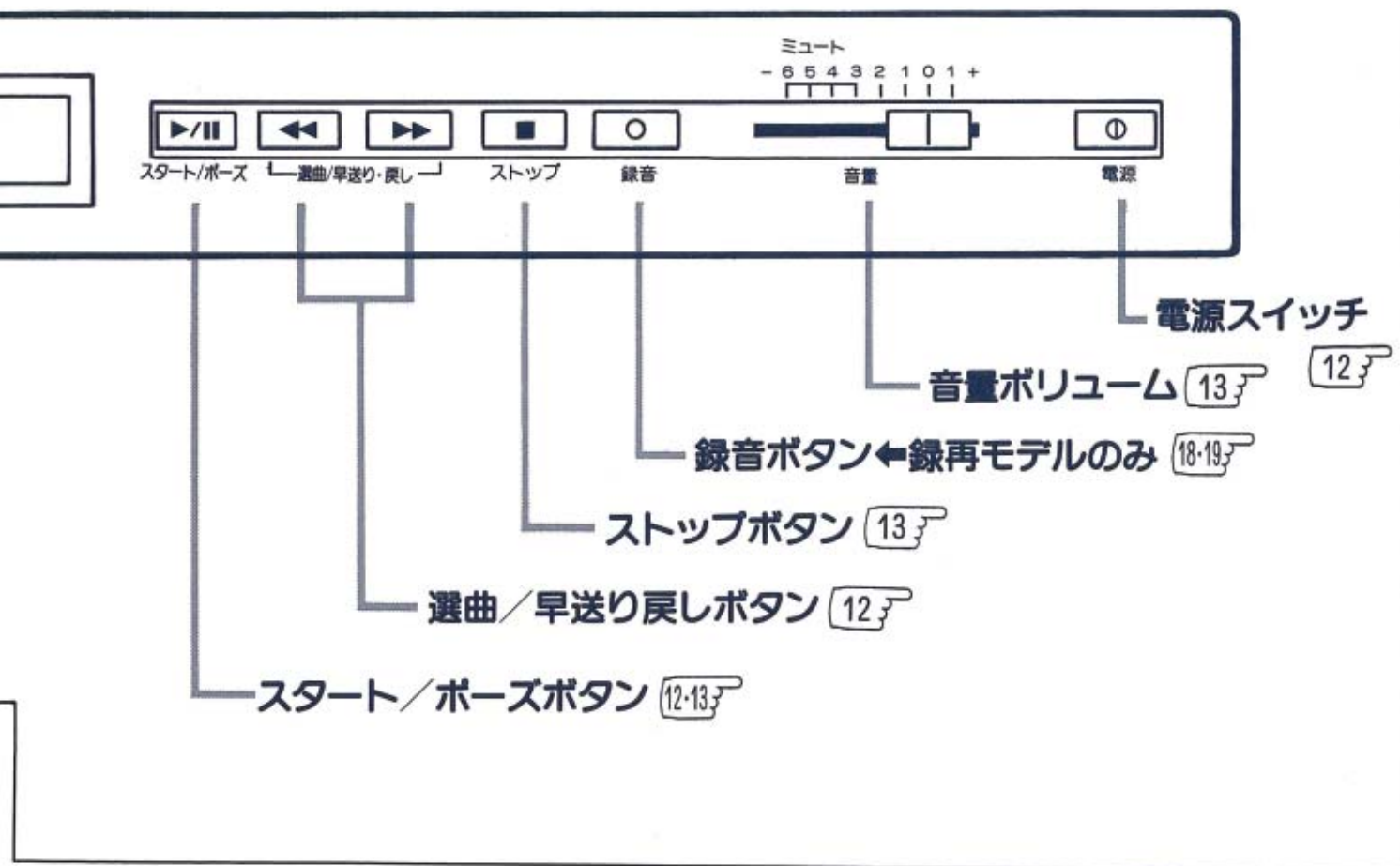
☞内のページに主な説明があります。



リアパネル



MIDIの使い方は26～29ページのMIDI機能をご覧ください。

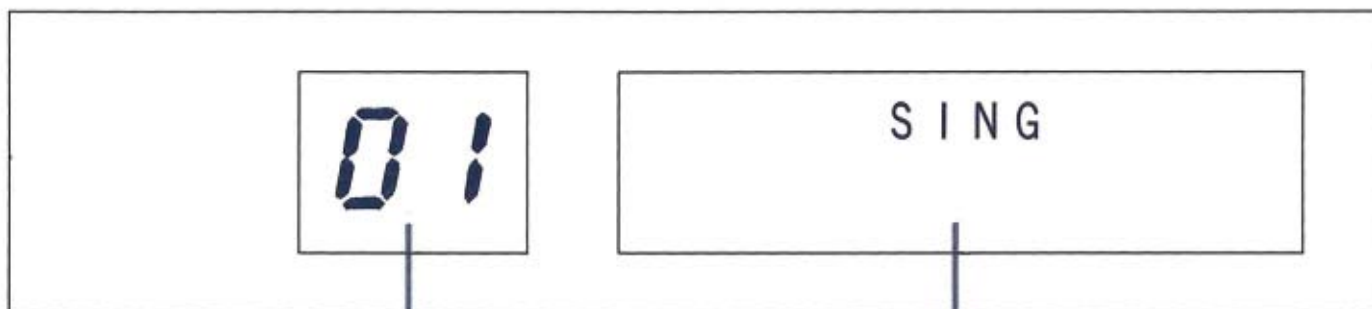


録再モデルのみ の表示されているボタン・機能はピアノプレーヤ録音/再生型のみのもので、再生専用型にはありません。

表示部について

操作内容に応じてその状態を表示します。

●主なものをご紹介します。(くわしくは、各操作方法をご覧ください。)



●曲番表示部

再生・録音する曲番号を表示します。
※録音できる曲数は最大60曲です。

液晶表示部

●再生機能

曲名(2段にわたって表示されます。曲名と時間等の表示と重なるときは、曲名の一部が欠けます。)

エリーセ `ノタメニ
<00:12>

再生経過時間

●音量調整

VOLUME 0
<00:12>

13

●パート キャンセル

エリーセ `...
LR<00:12>

14

●リピート 機能

エリーセ `...
all-rpt <00:12>

15

●移調機能

+1key +05%
<00:12>

16

●テンポ調整

17

●基本操作

**** YAMAHA ****
* PIANO PLAYER *

テ `ィスクラ イレテクタ `サイ。

シハ `ラク オマチクタ `サイ。

●ディスクタイトル・曲名

←表示流れる

YPD-1000 ピアノ...

フロッピーディスクのタイトル
↓ 約10秒後

SING

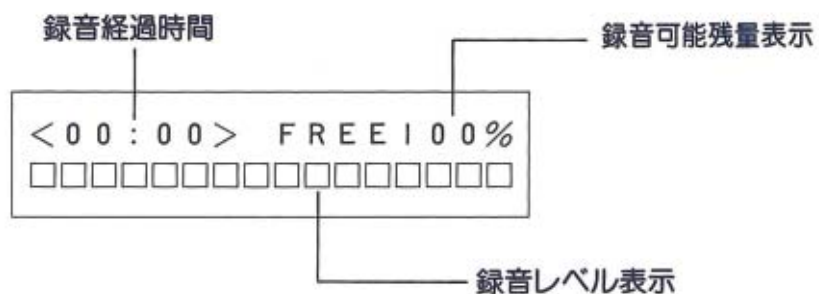
曲名および作曲者名

電源スイッチを入れると表示します。

フロッピーディスクを入れてください。

次の表示がでるまでお待ちください。
※この表示中にディスクをぬかないでください。
録音操作中ディスクをぬくとデータがそこなわれます。

●録音機能（録再モデルのみ）



●他

ディスクがフォーマットされてません。

未使用のディスクに録音しようとしたときに表示されます。→P11 フォーマットの項をご覧ください。

ディスクにプロテクトがかかっています。

誤消去防止のツメを戻してから、録音操作をしてください。

●他に、エラーメッセージが表示される場合があります。

→P32のエラーメッセージをご覧ください。

フロッピーディスクを入れるとタイトルを曲示

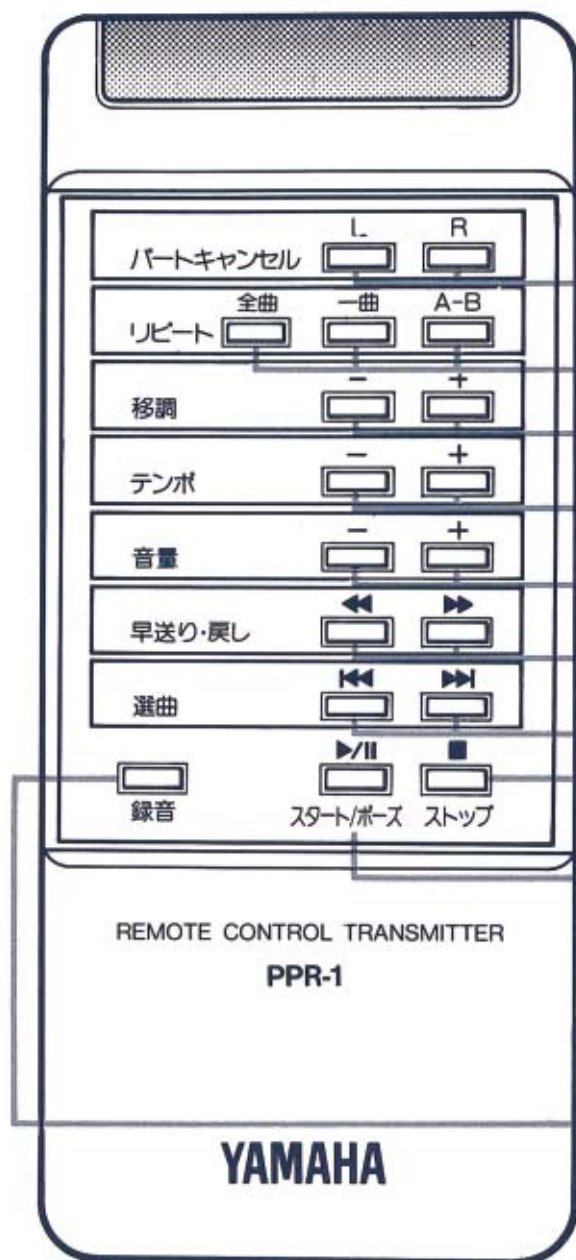
曲名を表示

リモコンの使い方

各部のなまえ

リモコンのみの再生機能

コントロールユニットの各ボタンと同じ働きをします。



パートキャンセルボタン

*L/R対応ソフトの再生の際、L(左手)又はR(右手)のパートをキャンセルし、片手ずつの再生ができます。

リピートボタン

全曲・一曲・A-Bを選び、くり返し再生ができます。

移調ボタン

±6key・±1・2オクターブの移調再生ができます。

テンポ調整ボタン

-50%~+20%で10段階に再生テンポを調整できます。

音量ボタン

早送り・戻しボタン

選曲ボタン

ストップボタン

スタート/ポーズボタン

録音ボタン (録再モデルのみ)

※録再モデルの図です。

*L/R対応ソフト

ピアノプレーヤソフトのタイトルの中で、教育用・連弾を中心にパートキャンセルのできるソフトが発売されています。くわしくは、ピアノプレーヤソフトカタログをご覧ください。

フロッピーディスクについて

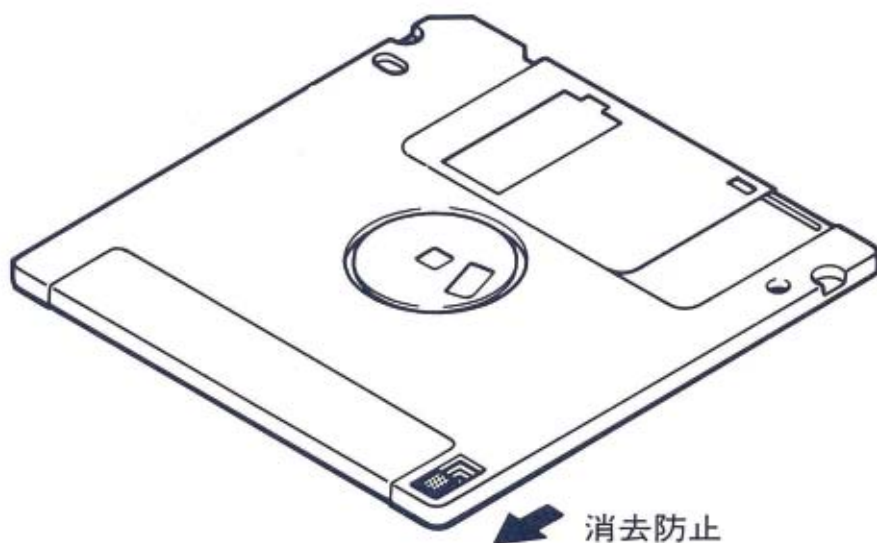
規格について

ピアノプレーヤで使えるフロッピーディスクは

- 再生用のピアノプレーヤミュージックソフト（くわしくは、ピアノプレーヤソフトカタログをご覧ください）と
- 録音用ディスクは、両面倍密度倍トラックの3.5インチフロッピーディスク（推奨品：ヤマハ・YFD-2DD）です。（録再モデルのみ）

取り扱いについて

- シャッターをスライドさせて磁性体面に触れないでください。また、煙やスプレーを吹きかけたりしないでください。汚れが付着したり、傷がつくと使用不可能になることがあります。
- ホコリの少ない場所でご使用ください。
- テレビやラジオ、スピーカーなど、磁気を帯びたものに近づけないでください。
- 温度条件は4℃～52℃です。4℃以下や52℃以上の場所に保管しないでください。



録音内容の誤消去防止（録再モデルのみ）

たいせつな録音内容を誤って消さないために、

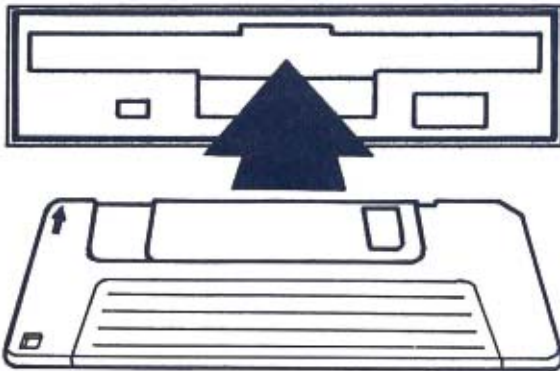
- ツメを上図の様にスライドしておくと、録音ができなくなります。

再び録音したいときは

- ツメを戻せば、再び録音できます。

フロッピーの出し入れ

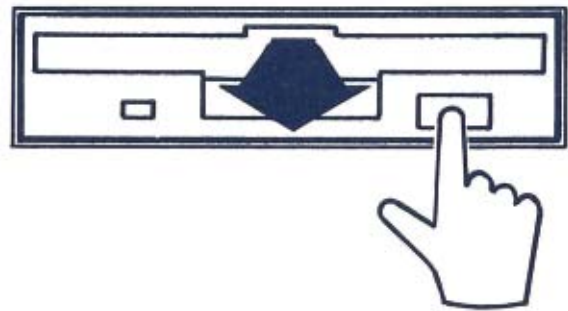
1. 入れかた



ラベル面を上にして入れる

2. 取り出しかた

ディスク取り出しボタン



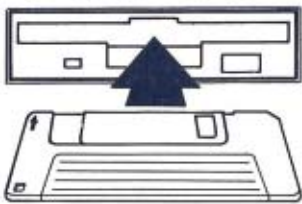
取り出しボタンを押して取り出す

フォーマットについて (録再モデルのみ)

新しい録音用のフロッピーディスクに録音するときは、はじめにフォーマット処理をして下さい。



1. ディスクを入れる



表示部

ディスクカフォーマットサレ
テマセン。

2. ストップボタンを押しながら録音ボタンを表示がでるまで押し続ける。



表示部

フォーマット シマスカ?

3. スタートボタンを押す



表示部

フォーマット シマスカ??

4. スタートボタンをもう一度押す



表示部

フォーマット シテイマス。

5. 終了

曲番表示=終了

↓ 表示部

01

数分後

「フォーマットシマスカ」の表示のときにストップボタンを押すと、操作を取り止めることができます。

再生のしかた

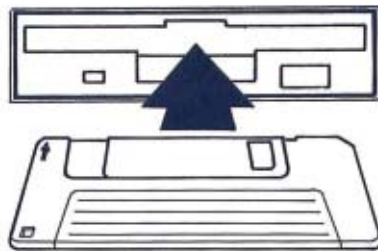
1. 電源を入れる



表示部

ディスプレイ イレクタ *サイ。

2. フロッピーディスクを入れる



シハ *ラクオマチクタ *サイ。

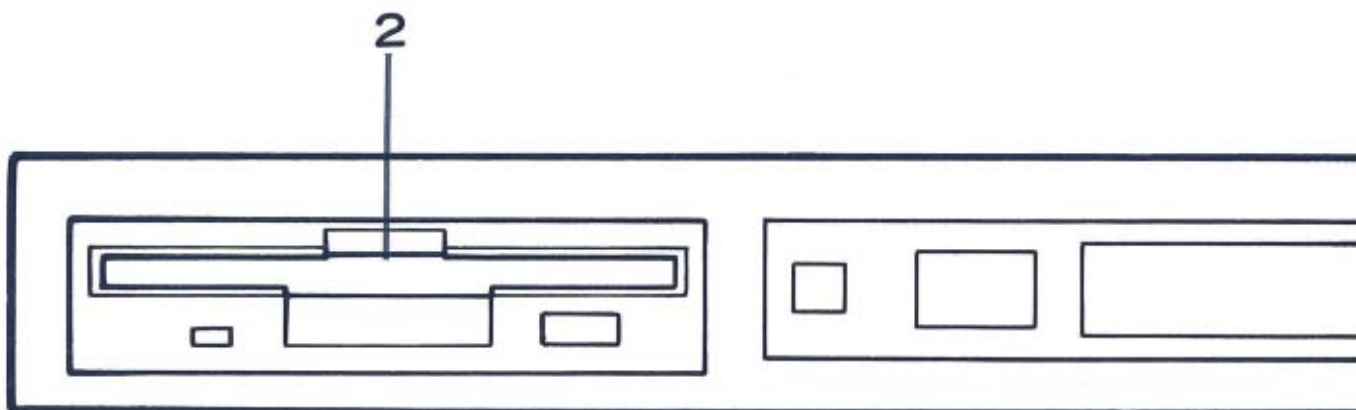


YPD-1000 ピアノ...



01

SING



選曲 / 早送り戻し

曲を選びたいとき

- 停止中に ◀◀ ▶▶ のボタンを押して選曲してください。

早送り戻しをしたいとき

- 再生中に ◀◀ ▶▶ のボタンを押してください。
もう一度、同じボタンを押すと再生を始めます。
- 早送り戻しは、曲の始めと終わりで止まります。

リモコンでの操作は、各々専用の選曲/早送り戻しボタンで行なえます。

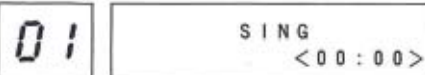
ペダルの再生(ラウドペダル〔右側のペダル〕)

ペダルは動きませんが、内部を駆動しています。

3. スタートボタンを押す



表示部



再生をやめるときは



表示部

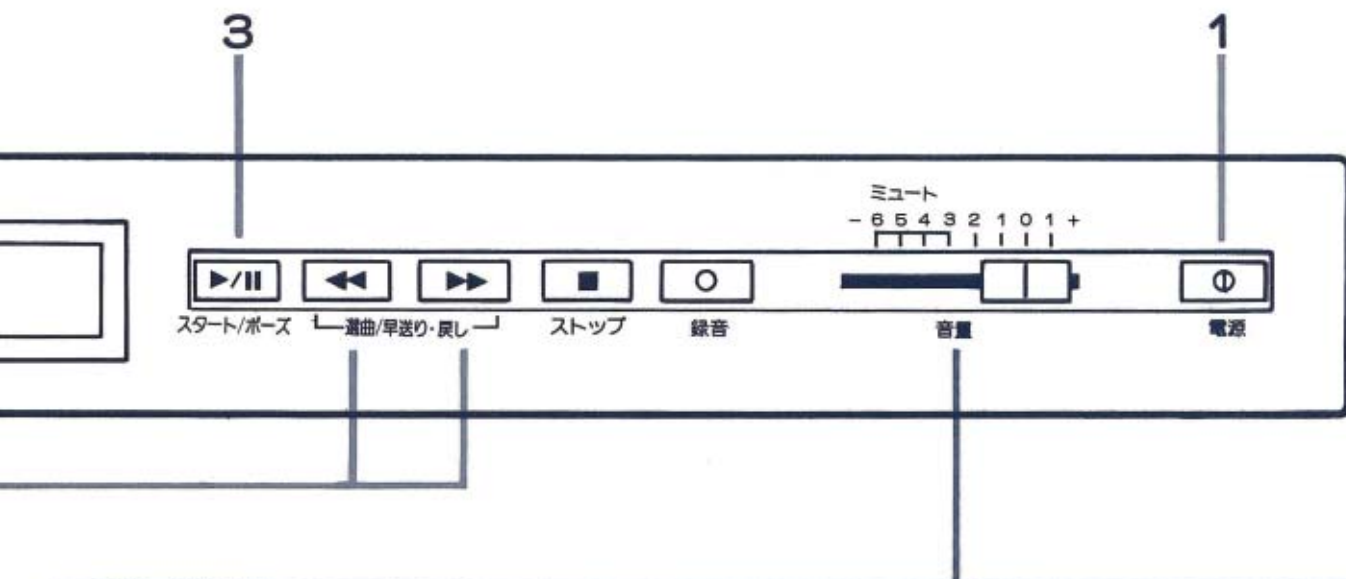


ストップボタンを
押す

再生を一時停止したいときは ポーズボタンを押す



再スタートはもう一度押す



音量調整

ミュート
- 6 5 4 3 2 1 0 1 +
| | | | | | | |



音量 小 ← → 音量 大

液晶表示部

VOLUME 0

- 音量調整はノーマルモード [-2~+1]。弱音再生用のミュートモード [-6~-3] の全部で8段階から選べます。
- オリジナルにいちばん近い音量は0（標準）です。
- ノーマル/ミュートの各モードへの切替時、ミュート機構用のモーターが作動しますので「ジー」という音がします。又、ミュートモード再生時は鍵盤が不揃いになることもありますが、支障ありません。
- リモコンでの操作の際は、ボリュームは動きませんが、音量は調整できます。

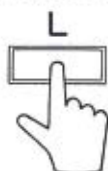
いろいろな再生機能 (リモコン操作でさらに)

L/R対応曲の再生 (パートキャンセル機能)

L/R対応曲の再生の際、パートキャンセルボタンの \square 又は \square ボタンを押すことにより必要でないパートを除いて再生できます。

(Lパートは普通 左手(低音側)パートです。
Rパートは普通 右手(高音側)パートです。)

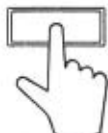
(Lボタンの場合)



(1回)



-表示となると左手パートの鍵盤再生はキャンセルされますがペダルは再生されます。



(2回)



*表示となると左手パートの鍵盤再生もペダル再生もキャンセルされます。



(3回)



L表示となると左手パートの鍵盤もペダルも再生されます。
[パートキャンセル解除の状態です]

(Rボタンの場合)

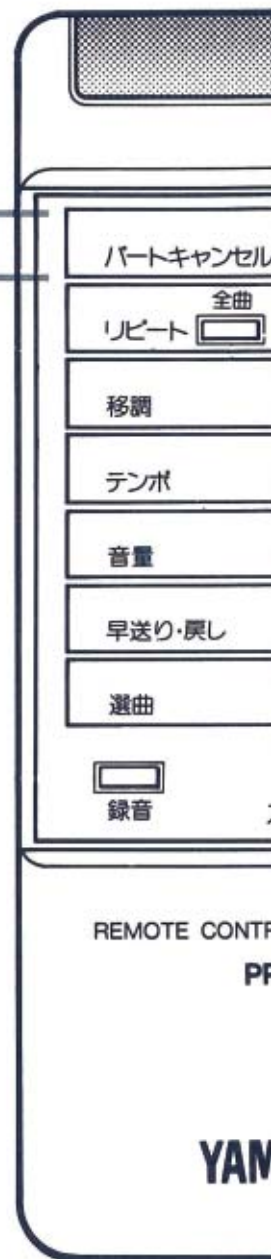
Lボタン同様 - * R の3通りあります。

SXシリーズL/R対応曲表示と動作

	LCD表示	動作			
		左鍵盤	ペダル	右鍵盤	
1	L R	○	○	○	L 左側の鍵盤が動作可
2	L -	○	○	×	R 左側の鍵盤が動作可
3	L *	○	×	×	- ペダル動作(内部駆動)有
4	- R	×	○	○	* ペダル動作無
5	* R	×	×	○	但し **は、鍵盤のみ動く
6	* -	×	×	×	
7	* *	○	×	○	
8	- -	×	○	×	

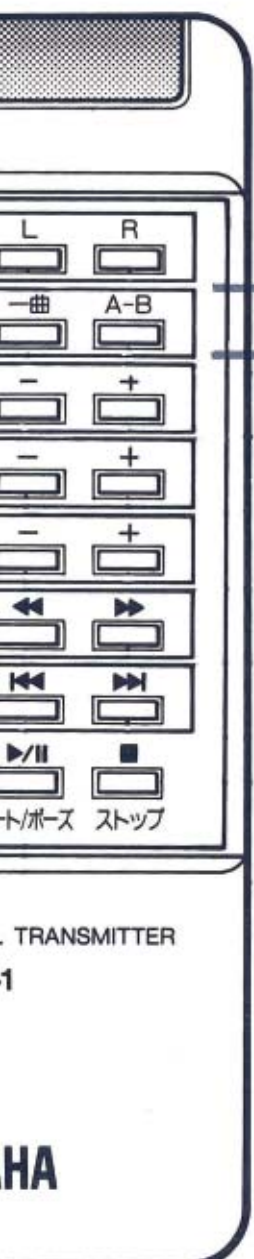
L/R対応曲とは

- 市販のピアノプレーヤソフトの中で、連弾・スタディーシリーズなどで、片方ずつ別々(L or R)に再生できるソフトです。
- スプリットポイントを指定して録音したソフトもL/R対応曲となります。→P21 (録再モデルのみ)
- 市販のピアノプレーヤソフトで〈ペダルによる予備カウント〉と表示されているものは、SXシリーズでは〈曲番表示部の点滅による予備カウント〉となります。



※録再モデルの図です。

いろいろな再生がたのしめます)



リピート機能 (くり返し聞きたいとき)

●全曲リピート

フロッピーディスクの全曲をくり返し演奏します。



液晶表示部

S I N G
a l l - r p t < 0 0 : 0 1 >

●一曲リピート

くり返し聞きたい曲を再生中 (又は、停止時) にボタンを押す。



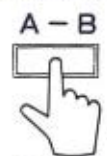
液晶表示部

S I N G
r p t < 0 0 : 0 1 >

●A-Bリピート

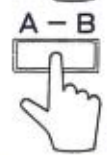
一曲中の2箇所 (A点・B点) を指定し、リピート演奏します。

液晶表示部



1回

A - B
A - s e t < 0 0 : 0 1 >

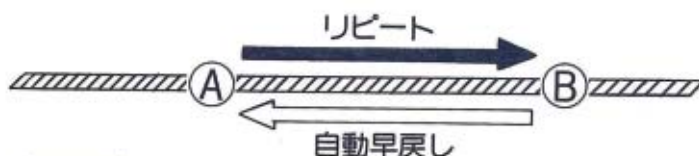


2回

A B - r p t < 0 0 : 0 1 >

B点まで行くと自動的にA点に戻ります。

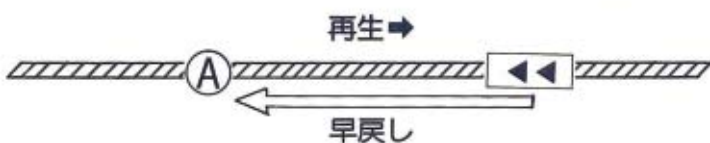
スタートボタンを押すと再生を開始します。



●リターンストップ

A点のみ指定し、 を押すとA点に戻し停止します。

スタートボタンを押すとA点から再生し始めます。



●リピート機能の解除

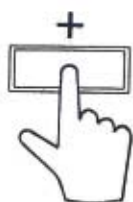
各リピートボタンをもう一度押すと、リピートが解除されます。

いろいろな再生機能 (つづき)

移調機能

●移調再生したいとき

上方向へ移調します。



液晶表示部

+ | key normal |
| < 00 : 01 > |

下方向へ移調します。



液晶表示部

- | key normal |
| < 00 : 01 > |

●移調の範囲

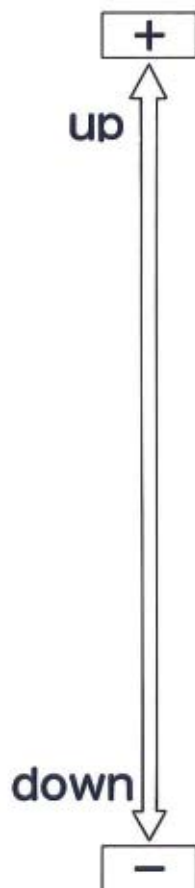
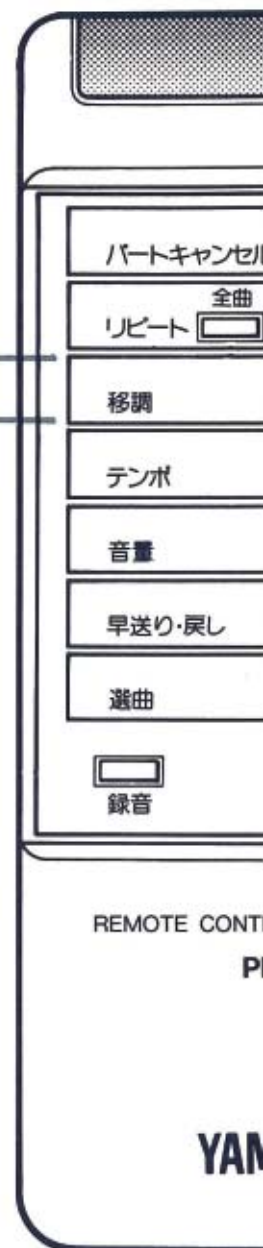


表 示	例
+ 2 oct	C
+ 1 oct	C
+ 6 key	F #
+ 5 key	F
+ 4 key	E
+ 3 key	D #
+ 2 key	D
+ 1 key	C #
normal (標 準)	C (原 調)
- 1 key	B
- 2 key	B b
- 3 key	A
- 4 key	A b
- 5 key	G
- 6 key	G b
- 1 oct	C
- 2 oct	C

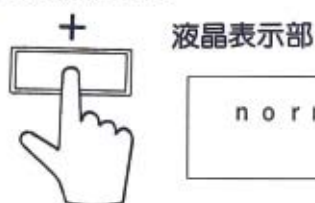


録再モデルの図です。

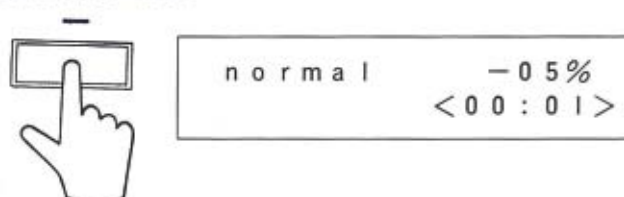
テンポ調整機能

●再生のテンポを変えたいとき

- 早くしたいとき



- おそくしたいとき



●テンポ調整の範囲

+	+20%
	+10%
	+05%
	normal (標準)
	-05%
	-10%
	-20%
	-30%
	-40%
-	-50%

↑ 早くなる
↓ おそくなる

標準再生への復帰

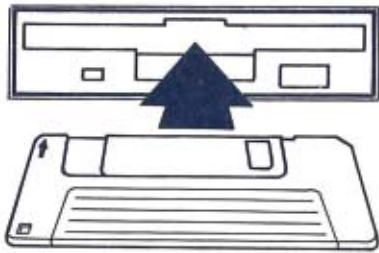
●移調・テンポ・音量を標準にもどしたいとき

各機能が標準位置より⊖方向にあるときは、各 **+** ボタンを押しつづけると標準にもどります。

各機能が標準位置より⊕方向にあるときは、各 **-** ボタンを押しつづけると標準にもどります。

録音のしかた

1. フォーマット済のフロッピーディスクを入れる



表示部

シハ *ラク オマチクタ *サイ。



01

2. ボタンを押す



録音待機表示

01 <00:00> FREE100%
 □□□□□□□□□□□□□□□□

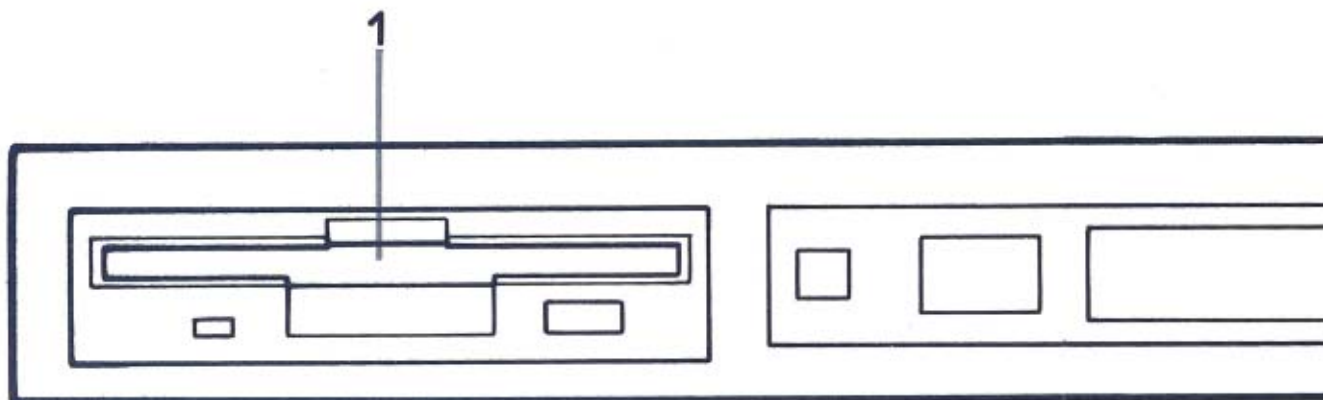
すでに何曲か録音されているときは、その次の曲番を表示します。

3. スタートボタンを押す



ピツと音がなり、録音可能になります。

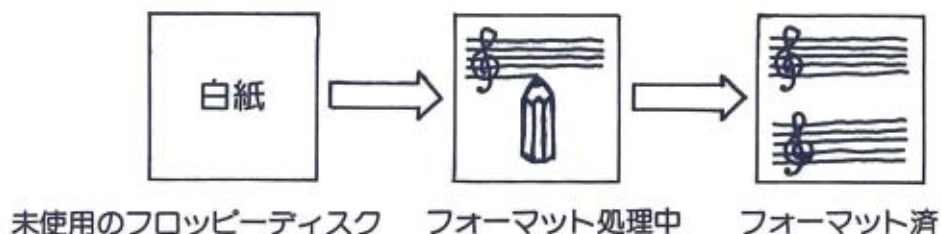
01 <00:01> FREE100%
 □□□□□□□□□□□□□□□□



●録音用フロッピーディスクについて→P10.11

- 3.5インチ2DDタイプ（推奨品：ヤマハYFD-2DD）をお使いください。
- 未使用のフロッピーディスクを使うときは、フォーマット処理が必要です。

●フォーマットとは 楽譜を書くときの五線紙の線を書くようなものです。



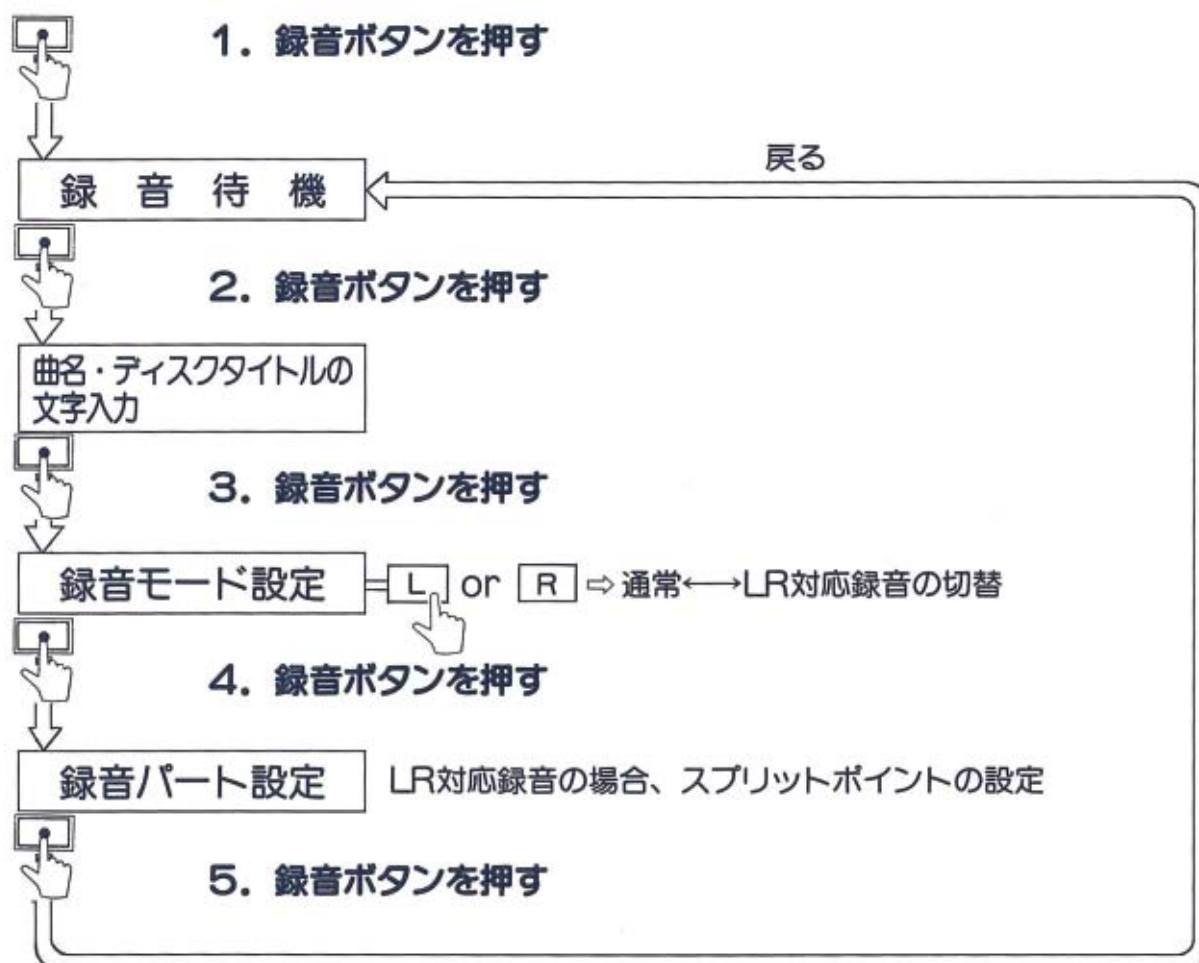
いろいろな録音機能

通常の録音の他に「曲名・ディスクタイトルの文字入力」と「録音モード設定」「録音パート設定」の録音機能があります。

録音機能について

録音機能	液晶表示部	内 容
曲名・ディスクタイトルの文字入力	-	曲名・ディスクタイトル表示用の文字の入力
録音モード設定	RECORDING MODE NORMAL	通常の録音とLR対応曲録音の切替
録音パート設定	RECORDING PART NORMAL	LR対応曲の録音のスプリットポイントの設定

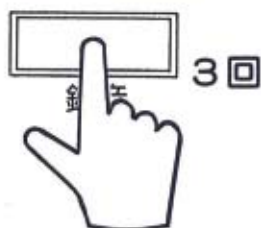
録音機能の切替 (録音ボタンを押す回数により切替わります。)



LR対応曲の録音

左手と右手のパートの境の鍵盤を設定し（スプリットポイントの設定）録音できます。再生時には、左手（L）・右手（R）パートを別々に、または同時に再生できます。（パートキャンセル機能→14）

1. 録音ボタンをつづけて3回押し、録音モード設定を呼び出す。



RECORDING MODE
NORMAL

2. L又はRボタンを押し、LR対応曲録音モードを選ぶ



RECORDING MODE
L/R RECORDING

3. もう一度、録音ボタンを押す。



RECORDING PART
L<- 88 KEY ->R

4. スプリットポイントの設定



又は、リモコンのLRボタンで鍵盤Noを選ぶ



RECORDING PART
L<- 47 KEY ->R

5. 録音開始



スタートボタンを押す

<00:00> FREE 100%
□□□□□□□□□□□□□□□□

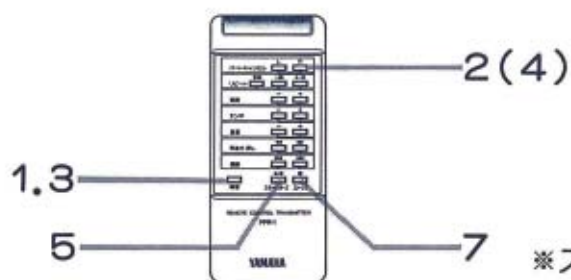
6. 演奏



7. 録音終了



ストップボタンを押す

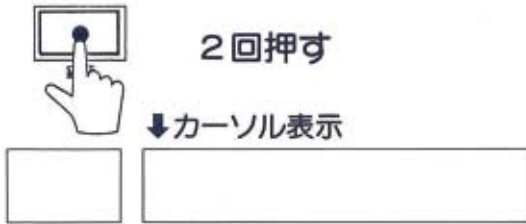


※スプリットポイントで設定された鍵盤は左手パートの最高音となります。

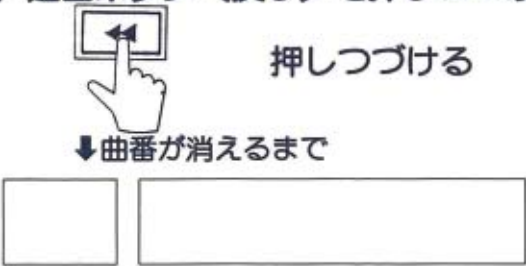


ディスクタイトルの文字入力

1. 録音ボタンをつづけて2回押し、「曲名・ディスクタイトルの文字入力」機能呼び出す



2. 選曲ボタン(戻し)を押しつづける



3. 文字入力

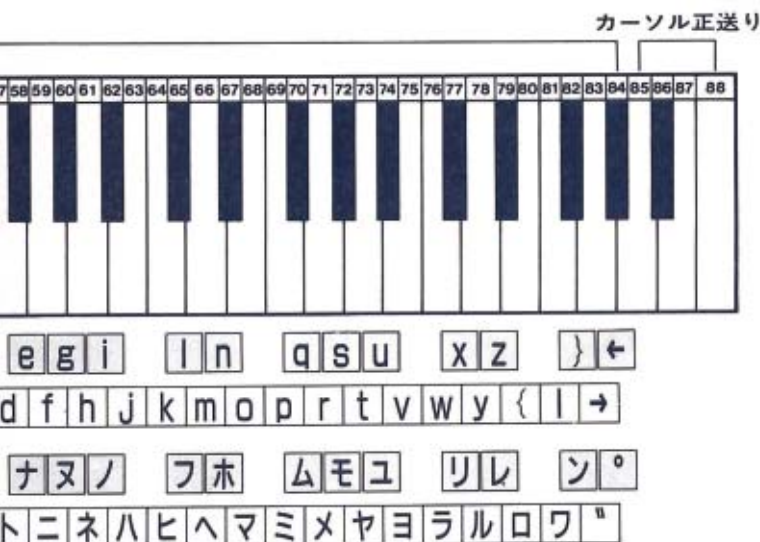
4.



文字入力の例 (バイエル 77の入力)

	操作方法	表示部
1	63keyを押す ラウドペダルをふむ	ハ <u>ハ</u>
2	83keyを押す ラウドペダルをふむ	バ <u>ハ</u>
3	39keyを押す ラウドペダルをふむ	パイ <u>ハ</u>
4	41keyを押す ラウドペダルをふむ	パイエ <u>ハ</u>
5	78keyを押す ラウドペダルをふむ	バイエル <u>ハ</u>
6	5keyを押す ラウドペダルをふむ	バイエル <u> </u>
7	ソフトペダルをふむ	(英数/カタカナ 文字入力切替)
8	12keyを押す ラウドペダルをふむ	バイエル <u>77</u>
9	12keyを押す ラウドペダルをふむ	バイエル <u>777</u>

入力終了の操作(ストップボタンを押す)

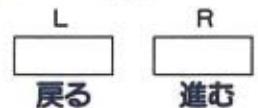


ラウドペダル
(文字確定用)

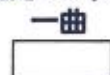
リモコンでの文字選択



鍵盤での文字選択がL/Rボタンでできます。鍵盤の番号順に表示部の文字がかわります。



文字確定操作(ラウドペダル)を一曲リピートボタンでできます。文字が確定します。



カーソルの移動は、全曲・A-Bリピートボタンでできます。



*録再モデルの図です。

一曲消去 リモコンではできません。

1. 消したい曲番号を選ぶ



選曲ボタンで選ぶ



↑曲番で選曲

2. ストップボタンを押しながら早戻しボタンを押す



コノキョクラ ケシマスカ?

3. スタートボタンを押す



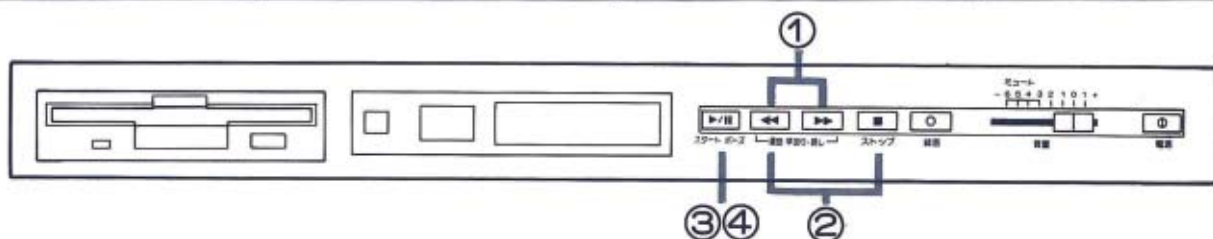
コノキョクラ ケシマスカ??

4. もう一度スタートボタンを押す



コノキョクラ ケシテマス。

表示がかわり終了



※一曲消去をすると、曲番も消去され、後の曲番が繰り上がります。

〈例 3曲目を消去〉

曲番	1	2	3(消去)	4	5
	↓	↓	↘	↘	
消去後	1	2	3	4	

再録音(録音をしなおしたいとき)

1. 録音ボタンを押す



2. とり直したい曲番を選ぶ



曲番で選曲

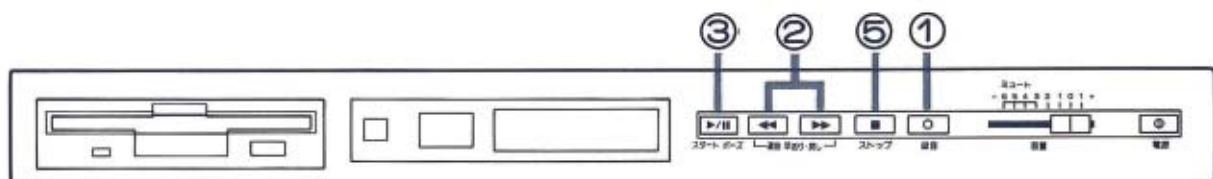
3. スタートボタンを押す



4. 演奏



5. ストップ



全曲消去

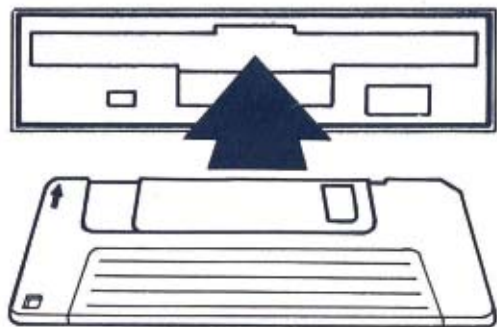
●フォーマット処理をすると全曲が消去されます。

記録データの互換性について

ヤマハデジタルシーケンサーQX-3で記録したデータをピアノプレーヤで再生できます。
ピアノプレーヤで再生する時は「登録」の操作を行ってください。

登録操作について (リモコンではできません)


1. QX-3で記録したフロッピーを入れる。

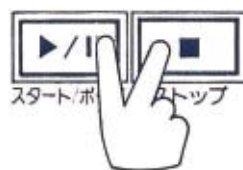


表示部

ファイルカ *ミツカリマセン。
トウロクシナオシテクタ *サイ。

2. ストップボタンを押しながら

 ボタンを表示がでるまで
押しつづける。



表示部

トウロク シマスカ?

3. スタートボタンを押す。



表示部

トウロク シマスカ??

4. もう一度スタートボタンを押す。



表示部

トウロク シテイマス。



曲順番 チャンネル

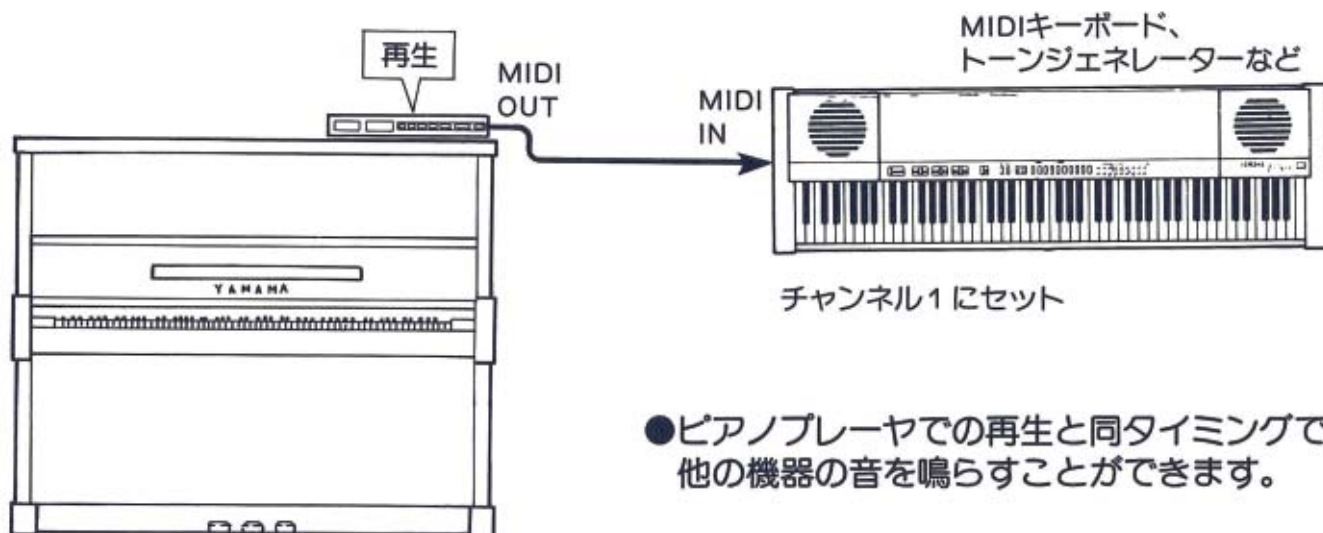
登録が完了し、ピアノプレーヤで再生できます。

MIDI機能

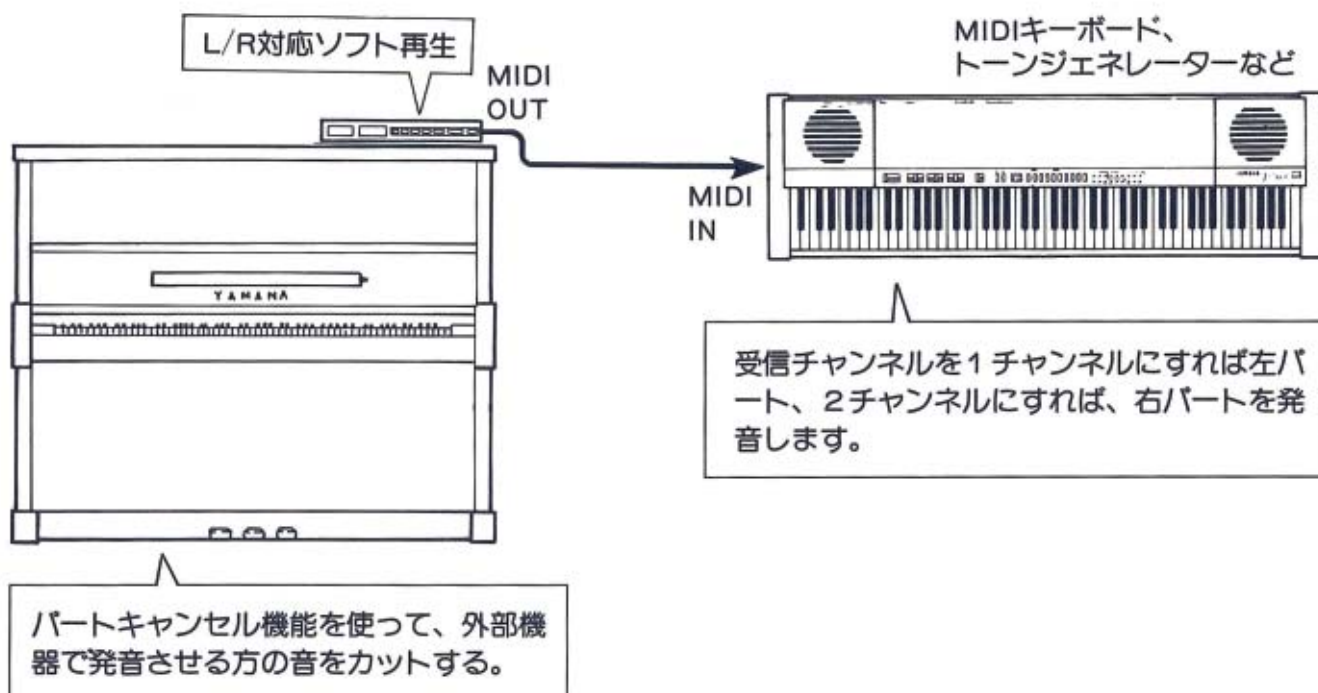
ピアノプレーヤにはMIDI OUT/INの2つの端子があります。
他のMIDI機器とつないでアンサンブルなどができます。
(接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。)

MIDI OUTの使用例

1 MIDI規格のキーボード・トーンジェネレーターなどとの接続

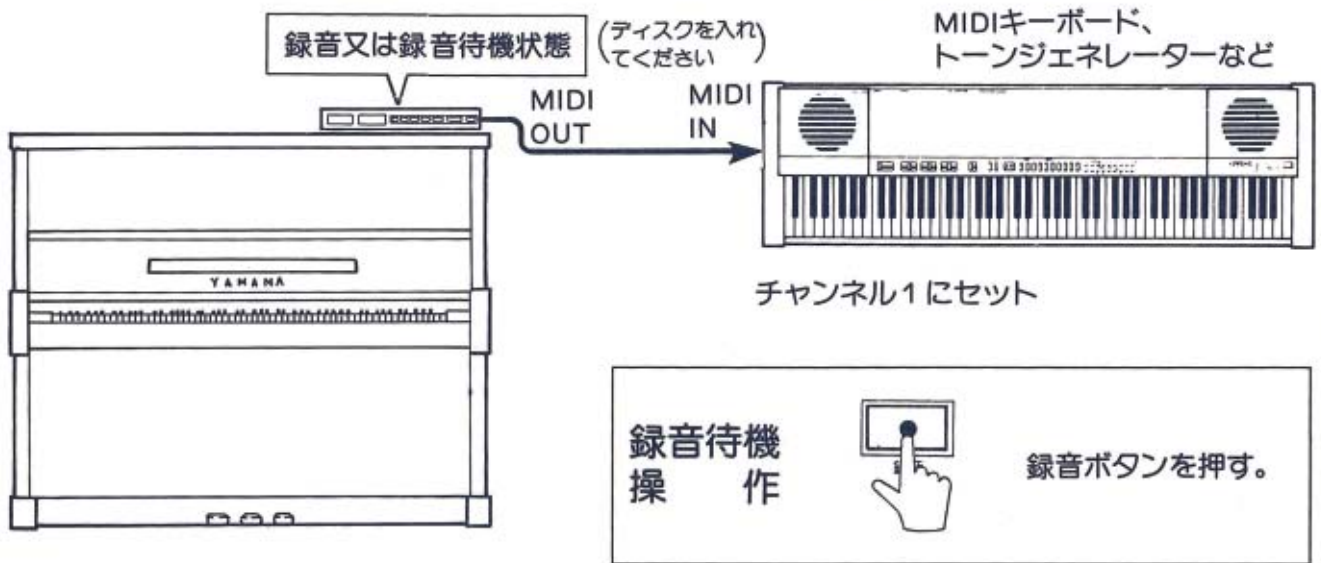


2 L/R対応ソフトの活用例



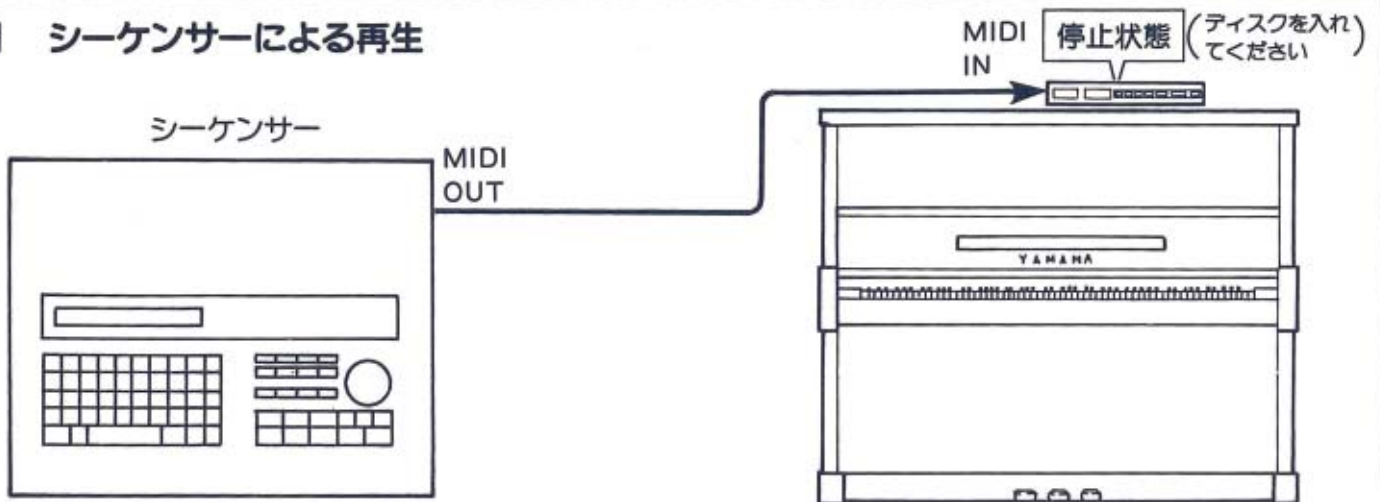
MIDI OUTの使用例

3 演奏の際に、外部の音源を同時に鳴らす(録再モデルのみ)



MIDI INの使用例

1 シーケンサーによる再生



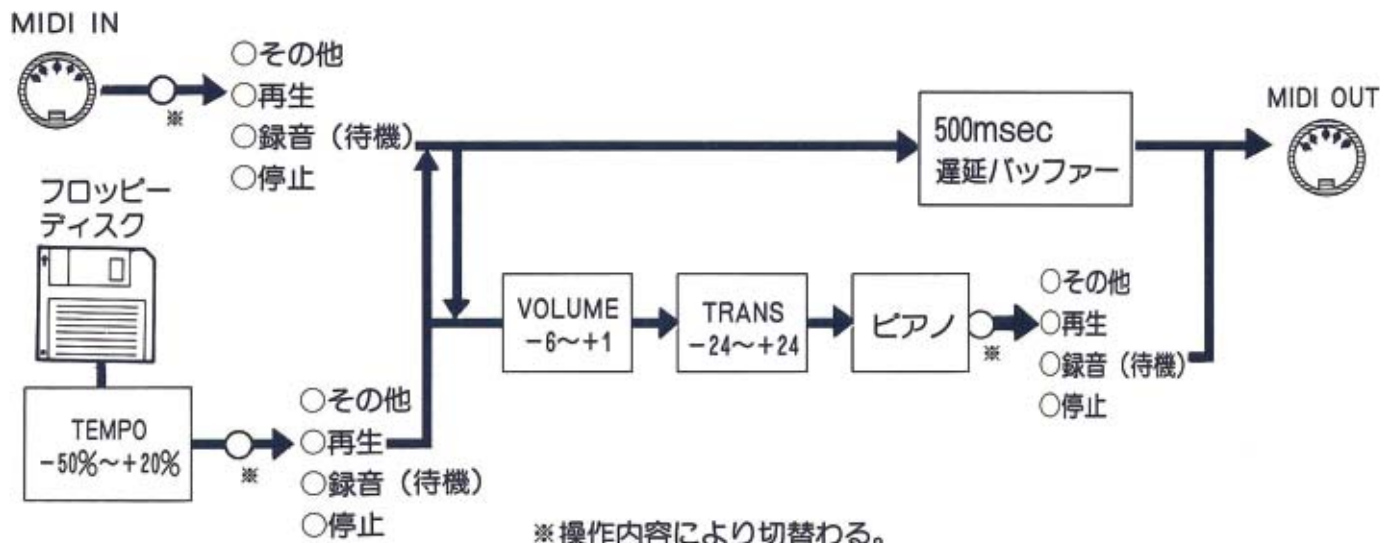
2 シーケンサーによる他の機器との同期再生

シーケンサーなどでピアノプレーヤーと他の機器をつなぎ、鳴らしたいときは、図のようなピアノプレーヤーのMIDI OUTを経由してつないでください。(ディスクを入れてください)



MIDI機能 (つづき)

ブロックダイアグラム



500msec遅延バッファ

ピアノプレーヤの場合、MIDI IN端子にデータがとりこまれてから実際に音がでるのは0.5秒 (500msec) 後です。(これはフロッピーディスクでの通常の再生も同じ) そのため、ピアノプレーヤと同じタイミングで他の機器を鳴らしたいときは、ピアノプレーヤの発音タイミングに合わせる必要があります。そのため、ピアノプレーヤと他の機器をつなぎ同時演奏したいときは、ピアノプレーヤのMIDI OUTと他の機器のMIDI INをつないでください。

各操作と入出力切替および500msec遅延バッファの関係

操作内容	IN	OUT	500msec遅延
再生	×	○	ON
録音 (待機)	×	○	OFF
停止	○	○	ON

- ： 通信可能状態
- ×： 通信不可能状態
- ON： 500msec遅延状態
- OFF： 500msec遅延せず

[PIANO PLAYER]

Date : 2/3, 1989

Model SX MIDI Implementation Chart

Version : 1.0

Function		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default Changed	1 ○ (1-2)	1 ×	L/R hand
Mode	Default Messages Altered	3 × *****	3 × ×	
Note Number :	True voice	21-108 *****	21-108 21-108	
Velocity	Note ON Note OFF	○ 9nH, V=1-127 × 9nH, V=0 *1	○ V=1-127 ○	
After Touch	Key's Ch's	× × *1	× ×	
Pitch Bend		× *1	×	
Control Change	64	○	○	
	67	○	○	
Prog Change : True #		× *1 *****	×	
System Exclusive		× *1	×	
Common :	Song Pos	×	×	
	Song Sel	×	×	
	Tune	×	×	
System Real Time :	Clock Commands	× ×	× ×	
Aux Messages :	Local ON/OFF All Notes OFF Active Sense Reset	× × ○ ×	× ○ ○ ×	
Notes	All recognized data are transmitted 500msec later if controller mode is STOP or PLAY. *1 All data are enabled to transmitted as record data if other E-seq disk is used and mode is PLAY.			

Mode 1 : OMNI ON, POLY
Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON, MONO
Mode 4 : OMNI OFF, MONO

○ : Yes
× : No

使用上のご注意

ピアノプレーヤを永くよい状態でご使用いただくには、次の事柄にご留意ください。



フロッピーディスクについては10.11ページをご覧ください。

ピアノプレーヤはピアノ本体とエレクトロニクス技術を駆使した自動演奏装置との最適のマッチングの上に性能を発揮します。また、自動演奏のデータを記録しているフロッピーディスクの保管もたいせつです。

1. ピアノ本体の手入れ

通常のピアノと同じ手入れ（調律など）が必要です。くわしくはヤマハピアノ取扱説明書をご覧ください。一般のご家庭での使用では、通常、年に1～2回の定期調律をおすすめいたします。

2. 自動演奏装置

電気系の部品の内、メカニカルな機構を持った部品は、ご使用の時間に伴った消耗が考えられます。1. のピアノ同様、ご使用の頻度にあった定期的点検および調整をおすすめします。

設置設置場所について

●窓際など直射日光の当たる場所



●暖房器具のそばなど極端に暑い場所



●湿度の極端に高い場所

●ホコリの多い場所



●振動の多い場所



取扱はていねいに

●スイッチやボタン、キャビネットなどに衝撃を与えないでください。



●キャビネットの上に物を置かないでください。



●コード類はピアノの下にはさみ込まないよう注意してください。



●コード類を抜き差しする場合は、必ず電源を切ってください。
●コード部分の断線やショートを防ぐため、コード類をはずす時は、必ずプラグを持って引き抜いてください。



電源について



・本機は日本国内仕様です。必ず、AC100V（50Hzまたは60Hz）の電源コンセントに接続してください。AC100V以外の電源は絶対にご使用にならないでください。長時間ご使用にならない時は、電源コードをコンセントからはずしてください。

フロッピーディスクについて



フロッピーディスクは、
ていねいに取り扱い
てください。（10ページ参照）

ピアノの前板を開けない



ピアノの前板を開けないで
ください。もし必要がある場合は、サ
ービス技術者にご相談ください。

キャビネットを開けない



キャビネットを開けて内部に手などを入れますと、故障や感電事故を起こすことがあります。何か異物が入ったときには、すぐ電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

落雷に対する注意



落雷のおそれのあるときは、早
めにコンセントから電源プラグを抜
きとってください。

水に濡れたら



万一雨が降ったり、花びんなど
の水をセットにこぼしたときは、
すぐに電源プラグを抜いて販売店
にご連絡ください。

移動の際には



本機を移動する場合は、コード類の
断線やショートを防ぐため、コード
類をすべて取りはずしてください。

外装のお手入れについて



汚れなどのお手入れは柔らかい布
でからぶきしてください。
ベンジンやシンナーなどの揮発油
で外装をふいたり、近くでエアソ
ールスプレーを散布したりするこ
とは避けてください。

他の電気機器への影響について



本機はデジタル回路を多用してい
るため、ごく近くでラジオやテレ
ビなどを同時にご使用になります
と、ラジオやテレビ側で雑音など
が生じることがあります。十分に
離してご使用ください。

もう一度調べてください



故障かな？と思ったら、まず33ペ
ージの「ちょっとお調べください」
をご覧ください。意外なところで
操作を誤っていることがあります。

エラーメッセージについて

本機は、不適当な操作を行なおうとした場合など、不都合が起きると、液晶表示部に警告やエラーを意味する言葉を表示することがあります。このようなときには、原因を確認したうえで処置を施してください。また、ここでは故障と勘違いしやすいメッセージも記載します。

★印は録再モデルのみの表示です。

表 示	原 因	処 置
テ `ィスクヲ イレテクダ `サイ。	電源をONにすると必ず表示されます。	
★ テ `ィスクニ プロテクトカ `カカッテイマス。	フロッピーディスクの録音内容が保護されています。	録音や曲名/ディスクタイトルの入力をする場合には、フロッピーディスクの消去防止用のツメを解除してください。
テ `ィスクカ `フォーマットサレテマセン。	フォーマットをしていないディスクを挿入した。	新品のディスクに録音する場合にはフォーマットする必要があります。
コノテ `ィスクハ ツカエマセン。トウロク ヲ シテクダ `サイ。	他のシステムで使用していたディスクを挿入した。	他のシステムで使用していたディスクを使用するには、登録する必要があります。
ERROR OCCURRED!! (PUSH STOP KEY!)	ディスクの不良	ディスクを交換してください。
	ハードの異常	ストップキーを押してエラー表示を解除してください。もし頻繁に起こるようであれば、販売店またはヤマハサービス窓口にご連絡ください。
ファイルカ ` ミツカリマセン。トウロク シナオシテクダ `サイ。	再生中または録音中にエラーが発生した。	登録しなおしてから、再録音する。
	再録音している途中で、ディスクのメモリー容量を超過した。	録音しなおすと共に、他のディスクに録音する。
★ フォーマットテ `キマセン。	ディスクの不良	ディスクを交換してください。
コノテ `ィスクニハ コレイシ `ヨウ キロクテ `キマセン。	ディスクのメモリー容量がいっぱいになった。	他のディスクに録音してください。
トウロク テ `キマセン	ディスクの不良。	ディスクを交換してください。
★ コノキョクハ トリナオシテ `キマセン。	市販のディスクの中には、再録音できない曲があります。	
シハ `ラク オマチクダ `サイ。	操作できる状態になるまでに時間がかかる時には、必ず表示されます。この表示の時にディスクを取り出さないでください。	
★ ロクオン/サイセイテ `キルキョク スウハ 60キョクマテ `テ `ス。	1枚のディスクに61曲めを録音しようとした。	1枚のディスクに録音できる曲数は最高60曲です。
ホ `タンヲ オシテクダ `サイ。	5分間停止状態のときに表示されます。	次の操作ボタンを押してください。

ちょっとお調べください

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ宛、お問い合わせ、またはサービスをご依頼ください。

表 示	原 因	処 置
電源が入らない。	電源プラグまたは接続ケーブルの差し込み不完全。	確実に差し込んでください。
録音できない。	電源プラグの差し込み不完全。	確実に差し込んでください。
	不適当な操作を行なおうとした。	“エラーメッセージについて”の項を参照。
再生ができない。	電源プラグの差し込み不完全。	確実に差し込んでください。
	不適当な操作を行なおうとした。	“エラーメッセージについて”の項を参照。
	消去済みの曲を再生しようとした。	
	録音を誤って中断したため、録音されていない。◀録再モデルのみ	再録音してください。◀録再モデルのみ
何度も繰り返し、再生されてしまう。	リピート機能が働いている。	リピート機能を解除してください。
録音した時と違う音量または違うテンポ、違う音程で再生される。		音量の設定、テンポの設定、移調の設定をノーマルの状態に戻してください。
弾かない音が出る。	ミスタッチした音が録音されている。	確実に演奏して再録音してください。◀録再モデルのみ
再生時に、ピアノから接触音が聞こえる。	駆動部が鍵盤後方下部を突き上げる仕組みなので、再生時に音量を下げると接触音が聞こえることがあります。	
再生時に音抜けがする。	三連符、トリルなど速いパッセージで、鍵盤が元の位置に戻らないうちに次の打鍵が始まる曲は、再生時に音抜けを生じることがあります。	
	テンポの設定が速すぎる。	テンポを遅くする。
	音量の設定が低すぎる。	音量を上げる。
	録音した時の演奏が弱すぎる。	確実に演奏して再録音してください。◀録再モデルのみ
再生時のアクセント表現が、録音した時と違う。	録音した時の演奏が弱すぎる。	確実に演奏して再録音してください。◀録再モデルのみ

仕様

電源	AC100 V ±10% 50/60Hz
定格消費電力	120 W
コントロールユニット	
寸法	間口435×高さ47×奥行173mm 重さ1980g
パネルスイッチ	7 (電源・音量・スタート/ポーズ・選曲/早送り戻し・ストップ・録音) [録再モデル] 6 (電源・音量・スタート/ポーズ・選曲/早送り戻し・ストップ) [再専モデル]
LCD	16文字×2
LED	7セグメント×2桁
記録メディア	3.5 インチ フロッピーディスク (2DD)
最大記録	曲数：60曲 記録容量：628Kbyte 曲名：32文字 ディスクタイトル：64文字
ドライブユニット	
キードライブ	88鍵 最大同時発音数：16音
ペダルドライブ	ラウドペダル (内部駆動型)
センサーユニット	(録再モデルのみ)
キーセンサー	88鍵 最大同時発音数：16音
ペダルセンサー	ラウド・ソフトペダル
入出力	MIDI IN/OUT
使用条件	温度：5～40℃
付属品	取扱説明書 (本書) 試聴用フロッピーディスク リモコン リモコン用電池 (単3×2個)

操作方法索引

* 録再モデルのみ

フォーマット*	11	LR対応曲の録音*	21
再生	12.13	曲名ディスクタイトルの文字入力*	22.23
パートキャンセル再生	14	一曲消去*	24
リピート機能	15	再録音*	24
移調機能	16	全曲消去*	24
テンポ調整機能	17	登録	25
録音*	18.19	MIDI機能	26～29

サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。) また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。(保証書はピアノ本体と共通です。)

●保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまにご購入の日から向う1ヵ年間の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。又お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいはヤマハにご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満1ヵ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。そのほかご不明の点などございましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせください。

ヤマハピアノプレーヤについてのお問い合わせは、
もよりのヤマハピアノ特約店/下記のヤマハへ。

北海道支店	〒064 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 TEL.011(512)6114	大阪支店	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9心斎橋プラザビル東館 TEL.06(252)8731
北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南10条西1丁目1-50(ヤマハセンター内) TEL.011(513)5036	大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16(ヤマハ柳千里丘センター内) TEL.06(877)5262
仙台支店	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10住友生命青葉通りビル TEL.022(222)6148	神戸サービスセンター	〒650 神戸市中央区元町通2-7-3(ヤマハ神神戸店内7F) TEL.078(321)1195
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5丁目7(仙台卸商共同配送センター3F) TEL.022(236)0249	四国サービスセンター	〒760 高松市丸亀町8-7(ヤマハ高松店内) TEL.0878(22)3045
東京支店	〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル TEL.03(3572)3542	広島支店	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL.082(244)3748
関東支店	〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル TEL.03(3572)3120	広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 TEL.082(874)3787
東京サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F) TEL.03(3255)2241	九州支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092(472)2152
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL.044(434)3100	九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092(472)2134
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8(シルバーボールビル2F) TEL.025(243)4321	本社登録営業本部 ピアノ営業部	〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル TEL.03(5568)2929
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911(ヤマハ柳宮竹工場内) TEL.053(465)6711	本社カスタマーサービス部	〒435 浜松市上西町911(ヤマハ柳宮竹工場内) TEL.053(465)1158
名古屋支店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL.052(201)5145		
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2(ヤマハ柳名古屋流通センター3F) TEL.052(652)2230		

●住所及び電話番号は変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社